

平成20年度 北海道一般会計予算の概要

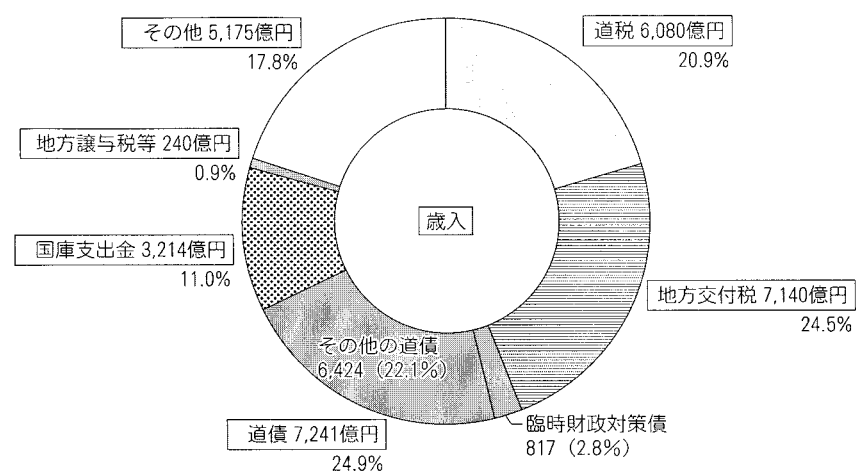
第一回定例会（3月4日～26日まで開催）におきまして、新年度予算が確定しましたので、その概要について報告いたします。

平成20年度予算も厳しい社会情勢がそのまま反映され、歳入を見ても国の方針による地方交付税の伸びを2.3%見た他、税金を前年度並に見込みましたが、国からの譲与税、負担金、国庫支出金などが大幅に減額される等の影響もあることから、道債を12.3%増やすことで調整し、実質対前年度比で0.2%減の2兆9,090億円となりました。

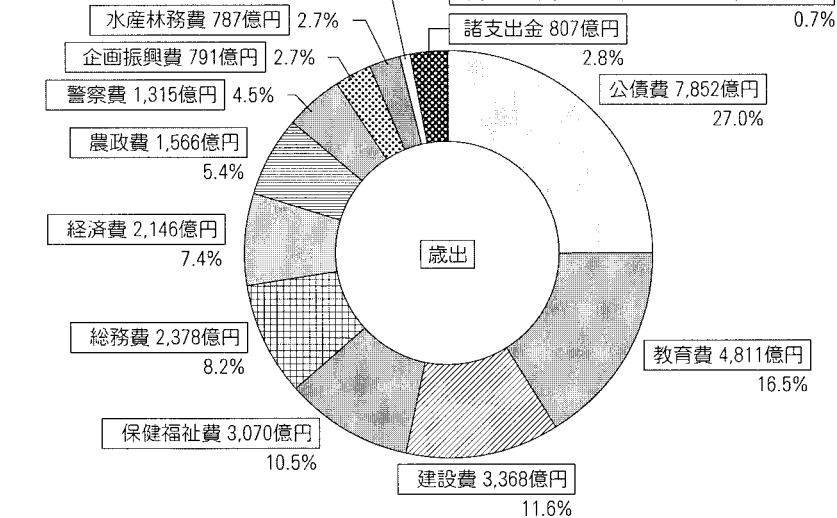
※民主党・道民連合は、道路特定財源維持・暫定税率、後期高齢者健康保険関連予算が組み込まれていることから、組み替え動議を提出しましたが否決となりました。

■ 歳入歳出の構成

歳入 2兆9,090億円



歳出 2兆9,090億円



■ 「道財政の中長期収支試算」等について

● 新たな収支対策の概要（一般財源ベース）

区分	概要																					
歳入	○新たな給与の独自縮減（H23年度までの4カ年の措置）																					
	1 一般職 ・給料の縮減～管理職員▲9%、その他の職員▲7.5% ・管理職手当の縮減～管理職員▲20% ・期末・勤勉手当の縮減～算出基礎額のうち役職段階別加算額の1/3相当額を減額 ・査定昇給の凍結 2 特別職 ・給料の縮減 ～知事▲25%、副知事▲20%、教育長▲15%、その他の常勤の特別職▲10% ・期末手当の縮減 ～知事▲25%、副知事▲20%、教育長▲18%、その他の常勤の特別職▲15%																					
歳出	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21～26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共事業費補助事業費</td> <td>▲11%程度</td> <td>▲8%程度</td> </tr> <tr> <td>国直轄事業負担金</td> <td>▲4%程度</td> <td>▲3%程度</td> </tr> <tr> <td>投資単独事業費</td> <td>▲9%程度</td> <td>▲7%程度</td> </tr> <tr> <td>特別対策事業費</td> <td>▲9%程度</td> <td>▲7%程度</td> </tr> <tr> <td>公共関連単独事業費</td> <td>◎規模継続</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>施設等建設工事費</td> <td>◎規模継続</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H20	H21～26	公共事業費補助事業費	▲11%程度	▲8%程度	国直轄事業負担金	▲4%程度	▲3%程度	投資単独事業費	▲9%程度	▲7%程度	特別対策事業費	▲9%程度	▲7%程度	公共関連単独事業費	◎規模継続	同左	施設等建設工事費	◎規模継続	同左
	区分	H20	H21～26																			
	公共事業費補助事業費	▲11%程度	▲8%程度																			
	国直轄事業負担金	▲4%程度	▲3%程度																			
投資単独事業費	▲9%程度	▲7%程度																				
特別対策事業費	▲9%程度	▲7%程度																				
公共関連単独事業費	◎規模継続	同左																				
施設等建設工事費	◎規模継続	同左																				
道債償還費	○高金利の財政融資資金等の繰上償還 ○新規道債発行の抑制による圧縮																					
その他歳出	○一般施策事業費及び施設等維持管理費 H20年度は前年度対比▲10%程度 H21～23年度は前年度対比▲5%程度																					
歳入確保	○道税の徴収強化、使用料・手数料等の見直し、遊休資産等の売却促進																					

● 平成20年度当初予算における歳出削減等の取組状況（一般財源ベース）

(単位 億円)

区分	◎対策額	主な内訳
人件費	344	○新たな給与の独自縮減
公共事業費	46	○補助事業費 32億円 ○直轄事業負担金（現年分）14億円
投資単独事業費	15	○特対・関連単独 15億円
道債償還費	4	○金利5%以上の財政融資資金等の繰上償還（◎211億円）
一般施策事業費	183	○道単独補助金（奨励的補助金・団体補助金）の見直し 9億円 ○集中対策復元分の中止
施設等維持管理費	11	○庁舎等維持費の縮減 ○一般職非常勤～◎582名→◎548名 ○一掃臨時職員～◎808名→◎789名
歳入確保	66	○道税収入の確保、使用料・手数料等の見直し、株式の売却処分 37億円 ○歳出の見直しに係る代替財源確保 29億円
合計	669	

写真で見る 高橋とおる道議の活動

(2008年1月～2月)



▲支庁再編で揺れる檜山地域の声を聞く (民主党・道民連合道政懇話会にて1/17 江差町)



▲公約違反の知事の方針に対して共に闘う決意をする (1/24 地公三者集会にて)

年交流協会平成20年度・第1回「日本語スピーチ大会」



▲日中青少年交流協会会長として留学生の日本語スピーチ大会で挨拶 (2/9 国際ホテル)



▲日中青少年交流協会新年交流会において留学生と記念撮影 (2/9 国際ホテル)



▲網走管内の地域医療の現状を管内首長から聞く (2/12 網走市)



▲保健福祉委員会理事として医師不足に悩む道立病院を視察 (2/13 紋別市)



▲先輩岡田道議の新春の集いでのあいさつ (2/15 八雲町)